

(様式1-表)

令和7年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	31	豊田市立 岩倉小 学校	代表	山田 太郎
------	----	-------------	----	-------

※分野[a: 国際交流・国際理解、b: 地域連携、c: 自然体験、d: 環境教育、e: 学力向上、f: 交流体験、g: 福祉・ボランティア、h: 伝統文化、i: その他()]から選ぶ。

テーマ	地域のよさを体感し、人とのかかわり合って、ともに学ぶ子	分野	b	地域連携
	サブテーマ 地域の「ひと・もの・こと」にかかわる体験を通して	(その他)は分野を右欄に記入		
学校づくりの視点(ねら)	1 地域講師・教材等、地域の学習素材を活用した「学び合い」の学習を通して、地域の歴史・文化、自然の豊かさや大切に気付かせる。 2 学校の教育活動と地域とのつながりを深めることで、児童には地域を愛する心を育て、地域の方々には、児童を地域で育てていこうとする機運を高める。 3 心の相談員や体力向上補助指導員とのかかわりを通して、心身ともに健康でたくましく活動する児童を育む。			
活動内容・計画	<活動内容> 1 1～3年生は、野菜の栽培活動や梅ジュースづくり、昔の遊び交流会、大豆を使った収穫祭、学習発表などを通して、地域の人との交流を深める。 2 4年生は、地域より講師を招聘し、校地内の竹を使った炭づくりなどの体験・探究学習を展開する。また、地域の自然環境（生物）の調査に取り組み、学んだ成果を発表する。 3 5年生は、「地産地食」をテーマに、地域より講師を招聘し、米やシタケ栽培などを行う。一方で栽培した食材をもとに食育に取り組み、その成果を学習発表会を通して、地域に発信する。また、6年生を送る会の企画・運営を通して、岩倉小の最高学年に向けての自覚を育む。 4 6年生は、岩倉の歴史・文化を探访したり、地域講師を招聘して話を聞いたりしたことをまとめ、学習発表会を行う。また、卒業プロジェクトの一環として、ボランティアさんに感謝する会を企画・運営したり、奉仕活動に取り組んだりして、最高学年としての態度や愛校精神を育むなど、心の教育を展開する。 5 心の相談員を活用し、不登校児童の対応や休み時間のふれあいを通して、児童の心の安定を図る。 6 体力向上補助指導員を活用し、児童の体力・技能向上を図る。 <計画> ・ 4～ 6月…野菜作りなどの栽培活動に取り掛かる。 ・ 6～ 9月…地域講師を招いた探究活動などを実施する。岩倉の自然について、現地調査や話を聞く会をもつ。 ・ 9～11月…地域講師を招いたり、歴史・文化について、話を聞いたり見学したりして、学習を深めてまとめる。 ・ 12～ 2月…収穫祭や学習発表会を行い、学習のまとめをする。 ・ 2～ 3月…6年生を送る会、ボランティアさんに感謝する会、卒業プロジェクトを行う。			
補助員配置	・心の相談員…年間を通じて、授業中は教室巡回や不登校児童の対応、休み時間は児童とのふれあいや相談活動を行う。 ・体力向上補助指導員…年間を通じて教科体育の充実を図る。			
実績・期待される効果	1 実績 (1)地域の人々とのつながりが深まる。 (2)地域の歴史や文化、自然の豊かさを学び、郷土愛を深めることができる。 (3)様々な体験活動を通して、心身ともに豊かな児童の育成を図ることができる。 2 期待される効果 学校だよりや学年だより、学校ホームページで特色ある活動を紹介することにより、保護者や地域への情報発信ができ、学校の教育活動に対する理解が深められる。			
検証方法	1 保護者アンケートの特色ある学校づくり推進事業の評価から、数値と意見の内容により検証を行う。 2 学校運営協議会にて、地域の一員として、あるいは各分野の専門家としての立場から、学習活動についてご意見、ご助言をいただく。 3 校内評価に、進捗状況や成果など具体的に判断できる評価項目を設定し、その時点での評価数値やその後の評価数値の変化によっても検証を行う。			